

令和3年10月5日

熊本市長 大西 一史様

団体名 NPO 法人ディスカバリーくまもと

代表者 職名 理事長 氏名 田嶋 尚美



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和3年（2021年）5月11日付け指令（地活）第7号により、熊本市市民公益活動

支援助成金の交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業
熊本の誇る「奇跡の地下水」と水前寺成趣園を英語でガイドするための子ども講座

2 助成事業の実施期間

令和3年4月1日 ～ 令和3年9月30日

3 助成事業の内容

次世代観光人材育成として、水前寺成趣園とともに熊本の誇る「奇跡の地下水」について、小学生及び保護者を対象に「子ども英語でボランティアガイド養成講座」を6回実施する。特に、保護者も参加することにより、水前寺成趣園出水神社や水前寺活性化プロジェクトチームとの連携を深める中から、地域の良さや奇跡の地下水について再発見し、自主的に発信できるようにサポートする。

4 事業の成果

定員36名を超す43名の受講生について、コロナウイルス感染状況の中、感染防止対策のもと、開講式のみ対面で実施できた。2回目より、感染状況激化により、オンライン講座（ZOOM）を実施し、発音指導や家族単位での個別指導に、グループでの指導にと、安全に効率的に実施することができた。リハーサルや発表会では、3名の外国人講師のアドバイスを得ながら、45ヶ所を接続し、全員で、全員の発表を確かめることができ、受講生にとって大きな成果となった。実際に現地でのガイド実践ができなかったため、現地でのフォローアップを随時行っていく予定である。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費	80,000	2,000 円×40 名
当該事業による収益	0	
当該事業に対する寄附・協賛金	0	
その他の自己資金	17,485	
当該事業に対する助成金額	194,970	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合 計	292,455	

◆支出決算（事業別）

事業名 支出費目	事業1	事業2	事業3	合計
	熊本の誇る「奇跡の地下水」と水前寺成趣園を英語でガイドするための子ども講座			
人件費	112,000			112,000
報償費	30,990			30,990
旅費	0			0
人件費等合計【A】	142,990			142,990
役務費	64,134			64,134
使用料・賃借料	24,000			24,000
事務・消耗品費	17,731			17,731
委託費	43,600			43,600
合計	292,455			292,455

助成申請上限額（助成種別：ステップアップ助成）

〔 事業費 292,455- 控除額【E】0 〕×2/3=194,970

※控除額…超過人件費（人件費等の合計が事業費の1/2を超えた部分）とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	142,990	➤	超過人件費【C】※	0
事業費の1/2【B】	146,227		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	-3,237		控除額【E】	0

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業１〔 熊本の誇る「奇跡の地下水」と水前寺成趣園を英語でガイドするための子ども講座 〕

人件費	スタッフ人件費 １ ルビ付き英語・日本語テキスト作成 1,000 円×12 名＝12,000 円 ２ 小学校との打合せ 1,000 円×2 回×2 名＝4,000 円 市役所との打ち合わせ 1,000 円×2 回×3 名＝6,000 円 ３ 生徒募集チラシ配布 1,000 円×2 名＝2,000 円 ４ ガイド講座講師料 1,000 円×6 回×13 名＝78,000 円 1,000 円×4 回×1 名＝4,000 円 500 円×延べ 12 名＝6,000 円
報償費	講師謝礼 3 名×10,330 円
旅費	なし
役務費	熊本日日新聞広告料 25,300 円×2 回＝50,600 円 書類郵送切手代 5,124 円 テキスト郵送代 8,410 円
使用料・賃借料	水前寺成趣園出水神社施設使用料 8,000 円 天理教熊本教務支庁 16,000 円
事務・消耗品費	封筒、画用紙、修了証書用紙、カードケース、紐他 6,072 円 インクカートリッジ代 4,639 円 コピー代 7,020 円
委託費	募集用チラシ カラー印刷 600 枚 30,000 円 レジュメ印刷 1,600 円 ルビ付き英語・日本語テキスト 60 部 12,000 円

事業報告書

実施年度	令和3年度
事業名	くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 熊本の誇る「奇跡の地下水」と水前寺成趣園を英語でガイドするための子ども講座
事業期間	令和3年4月1日～令和3年9月30日
事業の目的	次世代観光人材育成講座として、歴史深く、豊富な湧水に溢れた大名庭園である水前寺成趣園だけでなく、熊本の誇る「奇跡の地下水」について、小学生や保護者を対象とし、外国からのゲストやツーリストに英語でガイドできるように指導することにより、熊本の地域の活性化に主体的に貢献するとともに、熊本の観光復興に貢献することを目的とする。
具体的な事業内容	次世代観光人材育成として、水前寺成趣園とともに、熊本の誇る「奇跡の地下水」について、小学生及び保護者を対象に「子ども英語でボランティアガイド養成講座」を6回実施する。特に、保護者も参加することにより、水前寺成趣園出水神社や水前寺活性化プロジェクトチームとの連携を深める中から、地域の良さや奇跡の地下水について再発見し、自主的に発信できるようにサポートする。 - 事業のための実施計画案・ルビ付き英語・日本語サブテキスト作成 - イ 5月2日よりオンライン会議(ZOOM)において、講座担当者による実施計画案検討を数回実施 - ロ 6月に現地インタビューによるルビ付き英語・日本語サブテキスト作成 - 講座対象の小学生・保護者の募集 - イ 砂取小・出水小学校学校訪問(水前寺活性化プロジェクトチームの協力)チラシ作成・配布 3年生以上300枚×2校 - ロ 水前寺成趣園出水神社・水前寺活性化プロジェクトチームへのチラシ配布 - ハ 熊本日日新聞への募集広告依頼 タウンバケット2回・学び&チャレンジ・くまにち あれんじ - 講座開催(7月・8月)6回開催 7月24日の開講式は、開講式とワークショップ1の活動を対面で実施以降5回は、コロナウイルス感染状況の激化によりオンライン講座(ZOOM)開催 リハーサル・発表会においては、43ヶ所を接続し、オンラインでの全員発表実施 - イ 講師13名 計6回 - ロ 外部講師 3人(オンラインでの参加・アドバイス) - ハ 講座施設利用 6回(緊急なZOOM講座への変更のため施設使用料支払) - 講座使用のテキスト他 - イ 各グループ講座用英語・日本語テキスト(各グループ10頁×60部) - ロ 全コース英語・日本語テキスト(30頁×60部) - ハ 講座終了後、英語での修了証書授与(43部)
実施場所	水前寺成趣園・玄宅寺・参道商店街・藻器堀川
協力団体	協力:水前寺成趣園出水神社・水前寺活性化プロジェクトチーム
事業の効果・公益性	当事業を通して、湧水庭園水前寺成趣園だけでなく、熊本の誇る「奇跡の地下水」の良さを再確認し、発信することにより、地域との連携を深め、熊本市の観光復興に貢献できるだけでなく、持続可能な地下水システムを守る活動へとつなぐことができる。
次年度以降の事業展望	開講式に、熊本市水保全課による「熊本の地下水」についてのミニ講座を実施したことより関心がさらに高まった。2022年4月23日、24日に開催される「アジア・太平洋水サミット」や3月19日～5月22日に開催される「花とみどりの博覧会」において、水前寺成趣園で開催されるイベントでの英語・日本語でのガイドができるように企画する。水前寺成趣園での常駐ガイドを行っていることより、受講者について、英語だけでなく、日本語ガイドについても定期的にフォローアップする。
事業への思い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	熊本市にとって、湧水に溢れた大名庭園水前寺成趣園とともに、熊本の誇る「奇跡の地下水」の良さを再確認し、地域との連携を深めながら、次世代の小学生や保護者が英語でガイドする当事業は、2022年開催予定の「アジア・太平洋水サミット」や「花とみどりの博覧会」など熊本市の観光復興に貢献することが可能である。